

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-261711(P2006-261711A)

【公開日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2005-72161(P2005-72161)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

G 06 T 1/00 3 4 0 A

H 04 N 5/225 B

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像生成装置であって、

画像データを生成する画像データ生成手段と、

画像を表示する表示部と、

複数の人物の顔が含まれる前記画像データの各人物の顔に対応する複数の顔領域データを切り出す顔領域切り出し手段と、

前記複数の顔領域データを、所定の解像度に変換する解像度変換手段と、

前記解像度が変換された変換後顔領域データが表す画像を、所定の表示順に従い前記表示部に個別に表示する表示制御手段とを備える画像生成装置。

【請求項2】

請求項1記載の画像生成装置であって、

前記所定の表示順は、前記顔領域データを構成する画素数に基づく表示順である画像生成装置。

【請求項3】

請求項1記載の画像生成装置であって、

前記所定の表示順は、前記画像データが表す画像の中心から前記顔領域データが表す顔画像までの距離に基づく表示順である、画像生成装置。

【請求項4】

請求項1記載の画像生成装置であって、更に、

前記顔領域データを解析する解析手段と、

前記人物の顔を識別するときに用いる人物識別情報を格納する識別情報格納手段と、

前記解析手段による解析結果および前記人物識別情報に基づき、前記複数の顔領域データから、前記人物識別情報によって識別される人物の顔を表す顔領域データを抽出する人

物抽出手段と  
を備え、

前記表示制御手段は、前記抽出された顔領域データが表す画像を他の顔領域データが表す画像よりも前に表示する画像生成装置。

【請求項 5】

請求項4記載の画像生成装置であって

前記識別情報格納手段は、前記人物識別情報と当該人物識別情報によって識別される人物の顔を表す顔領域データの表示順とを、対応づけて格納しており、

前記表示制御手段は、前記識別情報格納手段に格納された前記表示順に基づき、前記抽出された顔領域データを表示する画像生成装置。

【請求項 6】

画像処理装置であって、

画像データを取得する画像データ取得手段と、

画像を表示する表示部と、

複数の人物の顔が含まれる前記画像データの各人物の顔に対応する複数の顔領域データを切り出す顔領域切り出し手段と、

前記複数の顔領域データを所定の解像度に変換する解像度変換手段と、

前記解像度が変換された変換後顔領域データが表す画像を、所定の表示順に従い前記表示部に個別に表示する表示制御手段とを備える画像処理装置。

【請求項 7】

画像生成装置が実行する画像表示方法であって、

画像データを生成し、

複数の人物の顔が含まれる前記画像データの各人物の顔に対応する複数の顔領域データを切り出し、

前記複数の顔領域データを所定の解像度に変換し、

前記解像度が変換された変換後顔領域データが表す画像を、所定の表示順に従い個別に表示する画像表示方法。